

1位

加湿ムラがなく稼働音が静か、理想的な加湿器はこれ

冬の乾燥は加湿性能

抜群のダイニチで防ぐ

優秀 静音性

「おやすみ快適」なら 寝室を静かに加湿

	最弱(実測値)	最強(実測値)
ダイニチ	40.9dB	47.7dB
シャープ	41.0dB	50.5dB

最強の「ターボ」、最弱の「おやすみ快適」ともに50dB以下と、2位のシャープを上回る静音性。特に「おやすみ快適」は音を気にせず眠れそうです

優秀 操作性

液晶表示とランプでモードがわかりやすい



液晶に表示される現在の湿度を参考に、50~70%の間で目標湿度を設定できます。ほかにも、湿度や使用状況に応じた最適なモードを設定可能

ボタンが小さく出っ張りがないので、多少ですが押しにくさを感じました

編集部 松本

良好 消費電力

最強モード1時間でも 電気代が10円以下!

	消費電力*1	電気代*2
SwitchBot	0.013kWh	0.4円
ダイニチ	0.320kWh	9.9円
象印マホービン	0.460kWh	14.3円

※1: 加湿力が最も高いモードで1時間運転時の消費電力
※2: 1時間運転時の電気代(1kWhあたり31円で計算)

消費電力が0.1kWh以下とかなり低かったSwitchBotとパナソニックには及びませんが、ダイニチも想定される電気代は最強モードでも1時間あたり10円を切ります。運転モードや設定湿度によっては、さらに消費電力を下げる事が可能です

良好 給水のしやすさ

タンクの取り外しが必須で水道が遠いと大変

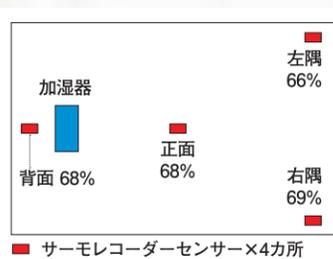


水を入れるタンクは、給水口を下向きにして取り付けるタイプで、もし倒れてしまっても水がこぼれにくい設計です。給水時は取り外しが必須なので、上から給水できるタイプより取り付け、取り外しの手間が毎回かかります

優秀 加湿性能

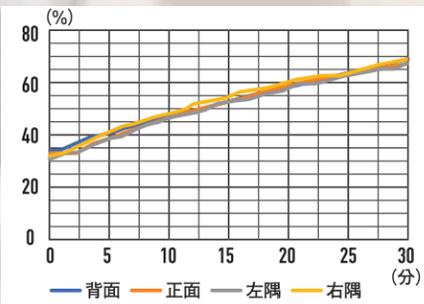
加湿量・湿度上昇ともに 優秀で加湿ムラなし

30分後の4地点のセンサーに加湿ムラはほとんどありません。吐出水量から測定した加湿量は680ml/hです。



加湿性能(カタログ値)	予測加湿性能
800ml/h	680ml/h

湿度30%、室温20℃の約6畳の恒温恒湿室で検証。30分後の4カ所の湿度を比較します



30分後の湿度は「背面68%・正面68%・左隅66%・右隅69%」。4カ所に設置したセンサーの湿度の変化をグラフ化すると、4本の線がバラつくことなくゆるやかに推移しているのがわかります

良好 交換可能な使い捨てパーツで お手入れ 洗浄・乾燥の手間を激減



フィルター・トレイ・タンクと定期的な洗浄が必要なパーツが多いハイブリッド式ですが、ダイニチはフィルターとトレイに使い捨てパーツを用意。交換するだけで、洗浄の手間を大幅に削減できます。なお、使い捨てのパーツは別売り(フィルターは青が付属する通常タイプ、赤が別売りの使い捨てタイプです)



ダイニチ カンタン取替えトレイカバー(3枚入) 実勢価格▶1650円



ダイニチ カンタン取替えフィルター2個入り(使い捨てタイプ) 実勢価格▶2640円

ダイニチ工業 ハイブリッド式 加湿器 HD-RXT724

実勢価格▶3万6080円

SPEC ●サイズ W375×D210×H375mm・約5.1kg ●タンク容量 6.3L

- 適用畳数 和室 12畳
- 加湿方式 ハイブリッド式(気化/温風気化式)
- 加湿量 実測/スペック 680/800 ml/h

- 室内の加湿ムラがほとんどない
- 睡眠時にも気にならない静音性
- ×タンクを取り外さずに水を注げない

家電批評

BEST BUY 2024年11月号 加湿器 (10~12.5畳用)

総合 ★★★★★ 4.18

公式通販限定のERXTタイプとして待望のカラーバリエーションが追加。部屋のインテリアに合ったカラーが選べるのも見逃せないポイントです!



加湿性能	お手入れ	静音性	消費電力
34.0/40	16.0/20	9.0/10	8.0/10
給水のしやすさ	機能性	操作性	合計
7.5/10	4.5/5	4.5/5	83.5/100

加湿と静音性に優れたお手本のような加湿器

室内を均等に加湿した性能と、稼働音の小ささでベストバイに輝いたのがダイニチ「ハイブリッド式加湿器 HD-RXT724」です。昨年のテストに続き、2年連続の1位を獲得。デザインのアクセントとなるクリアタンクは6.3Lと大容量で、残量がひと目で確認できます。

加湿性能は、30分経過後に4カ所に設置したセンサーの平均測定値が67.8%と、2位のシャープや3位のパナよりも加湿しました。加湿ムラはシャープに一步及びませんでしたが、それでも部屋を均一に加湿できる優秀な性能です。

運転モードは「標準」「エコ」「ターボ」など6種類。睡眠時には風量を抑えた「おやすみ快適」を選べば、稼働音を気にすることなく快眠できます。また、湿度は手動で50~70%の範囲を5%刻みで設定することも可能。現在の湿度が液晶に表示されるので、最適な設定を選ぶ参考になります。

フィルターを備えているため、お手入れは多少手間がかかりますが、ダイニチは別売りで使い捨て式のフィルターとトレイカバーを用意。お手入れの手間を省けます。どのテストも平均して高評価を獲得し、大きな弱点のない一台です。